

令和4年度 第2回公民館運営審議会議事要旨

報告事項	① 令和4年度東西公民館事業経過報告(10月31日)について ② 令和4年度東西公民館(11月以降)の事業計画について ③ 新型コロナウイルス感染症への対応状況について ④ その他
協議事項	①令和4年度東西公民館事業計画について ②その他
日時 場所	令和4年11月24日(木)10時45分～12時02分 東西公民館:会議室1・2
出席委員	7名/9名
事務局	館長、外2名

1. 開会(事務局)

2. 館長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 報告事項

令和4年度東西公民館事業経過報告(10月31日))について

5. 協議事項 令和5年度東西公民館事業計画について

6. その他

7. 閉会(副会長)

4. 報告事項(事務局より説明)

(1) 令和4年度東西公民館事業経過報告(10月31日)について

公民館講座は年度初めから11講座を開設している。夏季講座は2講座開設し、一つは将棋教室、もう一つは沼津高専の先生による子ども向け体験講座を実施した。展示は図書館1階の掲示版や陳列ケースを活用し、各講座の活動状況や作品等の展示をした。

今年度からの新規の講座は「はじめてのペン字レッスン」で、13名の方に受講して頂き、その他の講座は、以前より継続されている講座で、残念ながらほとんどの講座で受講者が減となっている。

東西公民館の利用状況は、10月末までの利用件数は前年度比18件減で、利用者数については1,160人増となっており、前年度に比べ大幅に増加している。コロナ禍においては1団体やグループの1回の利用人数を制限したり、また団体自ら減らしたりということがあったが、今年度はそれらが解消されているものと思われる。

東地区コミュニティセンターの利用状況は、10月末までの利用件数は前年度比22件増、利用者数については935人増となっており、こちらも東西公民館同様、前年度に比べ大幅に増加している。

「東西公民館および東地区コミュニティセンター部屋別の利用状況」については、参考までに添付している。

(2) 令和4年度 裾野市立東西公民館(11月以降)の事業計画について

令和4年度東西公民館(11月以降)の事業計画で公民館講座については、「陶芸講座」を今週末の26・27日に開催する。事前申し込み制で、定員10名いっぱいになっている。

また27日には「歴史探訪講座」も開催する。定員20名のところ、16名の申込みがあり、大畑地区を中心に、本会の会長である井上輝夫様に講師をお願いしている。

展示会については、3月中旬に2階の展示室や3階会議室を使い展示会を開催する計画で、またその展示物の写真を撮影し、図書館のWEBサイト上でも展示会を開催予定。

(3) 令和4年度新型コロナウイルス感染症への対応状況について

今年度は警戒宣言やまん延防止等重点措置などが発令されておらず、昨年度のように各部屋の定員の半分以下や、利用時間の短縮等を行っていない。

また6月までは利用者名簿等のご提出をお願いしていたが、7月以降はマスク着用を推奨・密を避ける等の基本的な新型コロナウイルス感染症の対策のみお願いした。

(4)その他

2つお知らせがある。1つ目は、今年度国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、公民館部分を含む全館に Wi-Fi 環境を整備する。

展示室ステージを改修して館内でパソコンや勉強の出来るスペースを増やしていく。

工事等については来年2月末までに完了を目指している。

この整備によりまして、館内での PC 使用環境が整い、今まで公民館を利用したことのない方々の利用促進に繋がりたいと考えている。

2つ目は、教育支援センター(通称 ふれあい教室)が9月中旬より2階視聴覚室に移転している。

今後の使用期間等については、所管している学校教育課を中心に、教育委員会全体での協議になることから、来年度以降の詳細については未定となっている。

《 質疑等 》

報告事項1～4

【委員】

2階視聴覚室にふれあい教室が移転した経緯についてはどのようになっているのか。移転したことによってどのような影響があったのか教えて欲しい。今後ふれあい教室との関わり方をどのように考えているのか。

<事務局>

ふれあい教室の以前あった場所が安全面に不安があったことから市施設への移転を模索していて、当初3階でふれあい教室をお願いしたいという話があった。公民館で活動している団体の活動拠点の確保が難しいことから、2階視聴覚室の利用頻度が少なく、視聴覚室に決定したと聞いている。

2階視聴覚室に移転したことでふれあい教室利用者が増えているようである。

例えば、今後ふれあい教室の行事に参加したり、ふれあい教室の展示協力をするなど連携していきたい。

【委員】

4月1日から展示室・視聴覚室が公民館に移管された。展示室の利用頻度についてはどのようになっているか。

<事務局>

図書館クラブすその絵画会の展示が1回・読み聞かせやリサイクルブック等の図書館イベントで利用されるぐらいで利用が少ない。PR不足ということもある。模索した結果、図書館に移管することになると思う。

【委員】

すその絵画会展示会で利用したが照明設備が不足していると感じた。

新しい照明設備を入れる予定はないのか。

<事務局>

展示室は全体的に暗い。図書館イベントではロールスクリーンを上げて自然光を取り入れるようにしている。新しい照明設備を入れる予定はない。

※報告事項の(1)～(4)については承認された。

協議事項(事務局より説明)

令和5年東西公民館事業計画について

現在予算要求をしている最中で、ある程度の結果が出るのは年明けと思われる。今から説明する内容は決定事項ではなく、予算要求をしている内容であり、必ずしも実施できるとは限らない。

公民館講座は、今年度と同様の講座数・開催回数を基本として講師謝礼等の予算を要求している。

修繕費予算は要求しておりますので、その予算の範囲内で小規模な修繕をすることになると思う。

(2)その他

東西公民館の講座への参加者数が減少している。

理由は、長年講座のメニューに変化がないことが1つの理由ではないかと考えている。

市議会9月定例会 文教厚生委員会においても公民館講座の内容についての質問があり、「生涯学習課と協議をし、市民の方にご利用いただきやすく、また参加しやすい講座になるよう検討してまいりたい」と答弁させていただいた。

参考までに申し上げますと、図書館が実施していた「図書館講座」は、令和4年度より自主的なサークルとして活動して頂いている。理由としては、公民館講座同様、長年同じ内容を開講していた結果、生徒の流動性がなくなったこと、また講師の謝礼を予算上確保することが難しくなったこと等による。

公民館講座についても、なかなか新規講座生の獲得に至っておらず、事務局としては内容の刷新も検討せざるを得ないのではないかと考えている。

今後の公民館講座の在り方について、委員の皆様にご意見を伺いたい。

<< 質疑等 >>

協議事項1～2

【委員】

今年度から「図書館講座」は、クラブ活動になった理由は講師料を支払えないということからであるが、今後どうするかは示されていない。牧水祭は短歌会が会費から資金を出して実施してきた。俳句会も含めて若い人に継承していきたいので官民一体になるように配慮をお願いしたい。

<事務局>

牧水祭は予算がつかず、今年度縮小開催した。市の財政状況が悪化しており今後も講座関係の予算削減が予想される。今年度と同様になることをご理解頂きたい。

【委員】

まちづくり講座を新設して欲しい。

<事務局>

通年講座ではなく、単発講座として大人向けの講座を設けていきたい。

【委員】

講座内容を検討する必要がある。例えば、私は生涯学習課から佐野原神社についての講師を頼まれた時に、今までは宝物を見せるだけにしてきたものを明治時代の時代背景の話をするようにしたら、講座生がより興味を持ってくれたことがあった。

<事務局>

各講座内容の精査をしていきたい。

※協議事項の(1)・(2)については承認された。

6. その他

特に連絡事項はなし。

7. 閉会(高橋副会長)